

# 安全のための遵守事項

## 鳥獣の捕獲等を目的として入林される皆様へ

鳥獣の捕獲を目的として、国有林野へ入林される場合は、下記の注意事項を厳守して、絶対に事故を起こさないようご注意ください。

### 記

- 1 実際に入林する日が決まった場合には、入林前日までに「入林連絡票」により日時及び場所を、FAX、電子メールのいずれかの方法によりご連絡ください。
- 2 立入禁止区域（作業予定区域及びその周辺区域等）については、入手した立入禁止区域図等により、その位置を確認するとともに、立入禁止区域内への立入り及び発砲を行わないでください。立入禁止区域及び当該林道入口等には、現地に「立入禁止」「発砲禁止」「銃猟禁止」「この先作業中につき立ち入り禁止」等の標識を設置しています。  
※ 事業の変更に伴い立入禁止区域図を変更する場合がありますので、入林する際は、お手持ちの立入禁止区域図が最新かどうか管轄する森林管理署等のホームページでご確認ください。  
※ 作業中であっても看板設置がない場合、また入林禁止区域図に図示されていなくても業務入林・一般者入林ある場合があるので、注意の徹底を図って下さい。
- 3 「入林届」の写しを、車両ごとに車内の見やすいところに掲示してください。
- 4 銃器による野生鳥獣の捕獲等を実施する場合は、「注意喚起看板」（野生鳥獣の捕獲等実施中入林時注意）を車両ごとに車体の側面等の見やすい場所に掲示してください。
- 5 **狩猟者は、配付された標識、別紙1「本流域で狩猟中」を林道入口の立木等に掲示、別紙2「この場所で狩猟中」を捕獲場所（林内に足を踏み入れる場所等）の入口の立木等に掲示してください。（別紙3「標識の現地表示略図」参照のこと）**
- 6 他の森林管理署等の管内に入林する場合は、当該森林管理署等においても同様の入林の手続をしてください。
- 7 一般の方が入林している場合がありますので十分御注意願います。
- 8 林道を通行する場合には、徐行運転をするなど、交通事故防止にご協力下さい。また、火気に注意し、山火事予防にご協力ください。
- 9 入林に当たっては、落石、滑落、なだれ（その他考えられる災害）等の危険箇所に関する情報を把握し、これら災害に十分注意してください。  
なお、入林された方が、落石、滑落、交通事故等により災害にあった場合でも、米代西部森林管理署では責任を負いませんのでご承知ください。
- 10 ライフル実包やスラッグ実包などの単体弾で撃つときは、前方に安土（バックストップ：山・崖・高い土手など）の無い限り発砲しないでください。  
また、単体弾は遠方まで飛ぶし、推力を失って落下するものにも貫通力（殺傷力）があるため、尾根を超えるような撃ち方もしないでください。
- 11 指定管理鳥獣捕獲等事業による夜間銃猟を実施する場合は、安全を厳密に確保する観点から、射撃場所、射撃方法及びバックストップをあらかじめ想定できる方法（誘引して定点から射撃する方法等）により捕獲するようにしてください。  
また、照明器具やナイトスコープ等の使用により、昼間と同等の視認性を確保していることを確認してください。

米代西部森林管理署長